町長タウンミーティング【鶴ケ丘五丁目町会】議事録（要旨）

日時：2025/11/17（月）19:00～20:40
場所：鶴ケ丘北公民館　ホール
参加者数：35 人

●　町長説明

●　意見交換

【まちづくり・地域振興】

Ｑ１．県営住宅の住民の中で、班長を引き受けて貰えないケースが増えており、対応に苦慮している。身体的な事情等に加え、共益費を住民自身が交代で集金する仕組となっており負担が大きいとのこと。

Ａ１．県営住宅管理センターに確認したところ、県営住宅の共益費については、各団地の自治会で金額や集金方法、管理方法などを決めているものであり、県では団地ごとにルール等が異なるため集金できないとのこと。今後、復興公営住宅が建設されたら、地域コミュニティの醸成を目的としたイベントに対し県の制度を活用しながら地域住民を巻き込み、若い世代や地域の担い手を掘り起こしていただき、町会の繋がりの再構築を町としてもお手伝いできればと考える。

Ｑ２．ウイングが閉店し、服を買う所が無くなった。週末には若い人達で賑わうような商業施設が欲しい。

Ａ２．小中学生の制服も買えなくなり、不便になったとの声もよく伺う。町としてはアンテナを高く張り、企業誘致・商業誘致の観点で、改装費用等に対する企業支援補助金創業支援金の活用もアピールしながら、出店事業者に積極的に呼びかけていきたい。

Ｑ３．高齢化率の進展によって町会の活動を支援するための「コミュニティ推進課」のような部署の創設を提案する。

Ａ３．高齢化率が 40 数パーセントとはいえ 420 世帯もあるので、参加しやすくすれば、若い世代はそれなりにおられるのではないかと考える。ご提案の新たな部署を創設するとなると、震災対応で職員は人手不足なため難しい面はあるが、こうした取組に特化した部門については、協議していきたい。

Ｑ４．民間アパートであれば家主から町会費をいただく。例えば、町営住宅であれば町から、県営住宅であれば県から町会費いただく仕組みを提案する。一度検討してほしい。

Ａ４．将来に向けて県と協議したい。

【福祉・子育て・教育】

Ｑ５．県営住宅に引っ越してくる方は高齢者が多く、町会の高齢化率が非常に高い状況。そうした中、町会からの民生委員の選出人数が、今回は３名から４名に増員を求められ、今後も増加することが予想される。高齢者をサポートする民生委員を地元町会だけに頼ることに限界がある。

Ａ５．民生委員の増員を求めた理由は、200 世帯に１名という配置基準に基づくもの。これに伴い、増員する地区について石川県と協議した結果、民生委員１人当たりの 75 歳以上の受け持ち人数が、町内で最も多かった鶴ケ丘５丁目町会が候補にあがり、事前に町会長に相談したうえで３名から４名に増員させていただいた。町や社会福祉協議会も地区との連携を図っているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

Ｑ６．夕陽ケ丘苑では、介護職員を雇用しても、すぐに退職してしまう。人材が定着しない原因は、収入面だけでなく職員全体のコミュニケーション不足だと聞く。介護職員、事務員、管理職が一体となり、雰囲気が良く穏やかな施設になるように協力してほしい。

Ａ６．夕陽ヶ丘苑の職員の給料面について、以前は他より低かったようだが、今は近隣施設と遜色ないものと報告を受けている。また、職員不足への対応としては、インドネシアから外国人研修生として２名を受け入れ、長く勤めていただくことを期待している。今後も職員育成や職場環境の向上など積極的に取り組んでいきたい。

Ｑ７．夕陽ケ丘苑では、デイサービスの設備とスペースを整備したにもかかわらず 10 年程前に閉鎖されたと聞く。早急に開設する必要があるのではないか。

Ａ７．デイサービスを閉鎖した経緯は、担当職員の退職や人材確保ができないことに加え、サービス再開に向けては施設改修に莫大な費用がかかることによる。収支状況を見ながら、検討していきたい。

【防災・安全・住環境】

Ｑ８．液状化は、大根布や鶴ケ丘でも一部起きたが、ほとんどが北部地区で起きた。他の地区は、液状化の心配はないのか。科学的なデータとかあるのか。

Ａ８．学識経験者からは、地下水位から３メートル程の高さがあれば液状化はなりにくいと聞く。今検討している地下水位低下工法では、地下水位を５～６ｍ下げようとしている。これであれば被害は少なくなると考えるが、震度等によって被害がどう出るかは分からない。また、震度が大きくなると、液状化の他に急傾斜地の崩落が心配される。砂丘地は、岩盤のようにコンクリートで固める補強ができないので、しっかりと安定勾配を取ることが重要である。そういったところも北部だけでなく南部も、しっかり安全対策を進めていかなければならないと考える。

【インフラ・都市整備】

Ｑ９．中学校から坂道上がってきた交差点の所に段差があり、積雪時によく車が嵌まる。通学路でもあるので消雪設備を設置してほしい。

Ａ９．消雪整備は 10 年単位の計画で進めているが、消雪装置に充てる国の予算が希望通りに貰えない状況が続いている。実現できてない部分も含めて計画を見直していきたい。機械除雪で早急に安全対策をしていきたい。

（閉会）